

商工会議所は、明治 11 (1878) 年に、商工業者の意見を集約し、政府に建議要望などを行う機関として初めて東京に創設され、以後、現在までに全国 515 力所に設立されている、あらゆる業種・業態の商工業者からなる「地域総合経済団体」です。



The Chamber of Commerce and Industry News KAWARABAN PLUS

商工会議所二ニュース

かわら版 PLUS

No. 72

各地商工会議所
日本商工会議所

商工会議所数 515

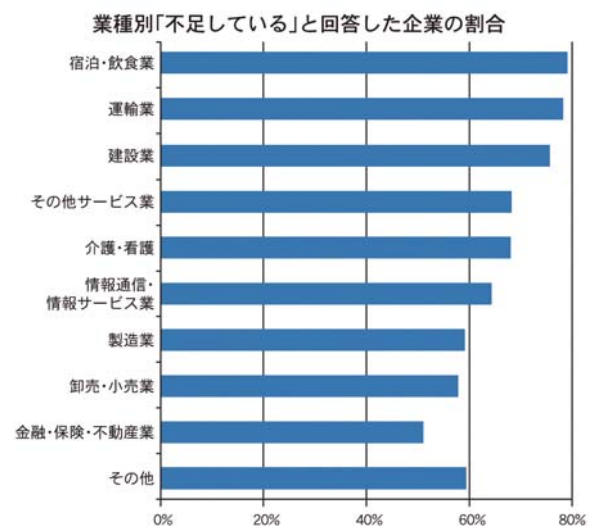
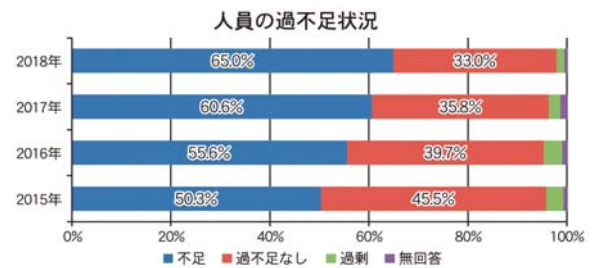
総会員数 125万会員

人手不足などへの対応に関する調査

中小企業の65%「人手不足」 過去最高を記録

日本商工会議所は6月7日、「人手不足などへの対応に関する調査」の集計結果を取りまとめた。中小企業における人員の過不足状況について、65.0%の企業が「不足している」と回答した。昨年調査よりも4.4ポイント上昇し、4年連続で5割を超えるとともに、過去最高を記録した。業種別では、昨年調査と同様に宿泊・飲食業の人手不足感が最も高く、79.1%の企業が「不足している」と回答した。次いで、運輸業(78.2%)、建設業(75.6%)となった。

今後3年程度の人員充足の見通しについては、全体の5割以上の企業が「不足感が増す」と回答。「現在と同程度の状況」を選じた企業も43.1%に上ったことから、今後、数年間は人手不足の状況が続くとみられる。人手が「不足している」と回答した企業に限ると、6割以上の企業が「不足感が増す」と回答した。調査は、3～4月にかけて全国の中小企業4108社を対象に実施。2673社から回答を得た。



マハティール首相との懇談会

日本からの投資期待

日本商工会議所は6月12日、マレーシアのマハティール首相との懇談会を都内で開催した。マハティール首相は、「マレーシアは日本から技術だけではなく、職業倫理や勤労についても学んだ。今後も日本の人と技術で発展を加速させ、先進国の仲間入りを果たしたい」と日本からの投資に期待を寄せた。日商の三村明夫会頭は、「マレーシアの発展を思う強い気持ち、日本に対する強い期待と行動力に心から敬意を表したい」と述べた。



マハティール首相(左)と三村会頭

検定最優秀者表彰

日商簿記など成績優秀者たたえる

日本商工会議所は6月8日、2017年度に日商が実施した簿記、リテールマーケティング（販売士）、日商PC（文書作成、データ活用）検定試験の最優秀合格者などに対する表彰式を行った。表彰式では、それぞれの最上級試験の合格者のうち、各回において最も優秀な成績を収めた5人と、簿記検定試験の団体戦である日商簿記検定全国大会の最優秀チームをたたえ、日商の三村明夫会頭から表彰状が贈られた。



三村会頭（前列左から2人目）と受賞者ら

被表彰者名簿

（順不同・敬称略）

検定試験名	氏名	職業・業種	年齢	受験地
日商簿記 [第146回]	文屋 克隆	大学生	20	川崎
日商簿記 [第147回]	田辺 信吾	大学生	20	大垣
リテールマーケティング（販売士） [第81回]	富本 凌規	会社員	23	東京
日商PC（文書作成）	齊藤 美咲	大学生	21	広島
日商PC（データ活用）	山崎 静香	会社員	42	東京
2017年度 日商簿記検定全国大会優勝チーム	朝日大学	—	—	岐阜

（年齢は2018年6月8日現在）

日本商工会議所から最新のビジネス情報をお届け

会議所ニュース



日本商工会議所が月3回発行する新聞。日商や全国各地の商工会議所の政策提言や事業活動をはじめ、ビジネスに役立つ情報が満載です。中小企業や地域が直面しているテーマをタイムリーに捉え、商工会議所独自の視点でビジネスの現状を分かりやすく紹介しています。

月3回発行（1日、11日、21日）
1部136円 年間購読料4,320円(送料・税込)

地域・中小企業を元気にする 月刊石垣



日本商工会議所発行の月刊ビジネス情報誌。経営や地域活性化のヒントになる先進事例を紹介する特集をはじめ、全国の魅力的なまちを取り上げる「まちの解体新書」、話題の著名人の素顔に触れる「あの人を訪ねたい」など、厳選の企画・連載が目白押しです。

毎月10日発行
1部515円 年間購読料5,500円(送料・税込)

ご購入のお申し込みは日本商工会議所広報部（TEL:03-3283-7901）まで

お問い合わせ先

商工会議所は、地域の商工業者の応援団です。

2018年7月発行